

スリム型レンジフードファン

FG6S05ML(A)/R(A) FG6S06ML(A)/R(A)
 FG7S05ML(A)/R(A) FG7S06ML(A)/R(A)
 FG9S05ML(A)/R(A) FG9S06ML(A)/R(A)

取付・設置説明書

安全のため必ずお守りください

誤った機器の設置を行った場合の危害・損害の程度を、次のように区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

| | |
|-----------|---|
| 警告 | この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。 |
| 注意 | この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

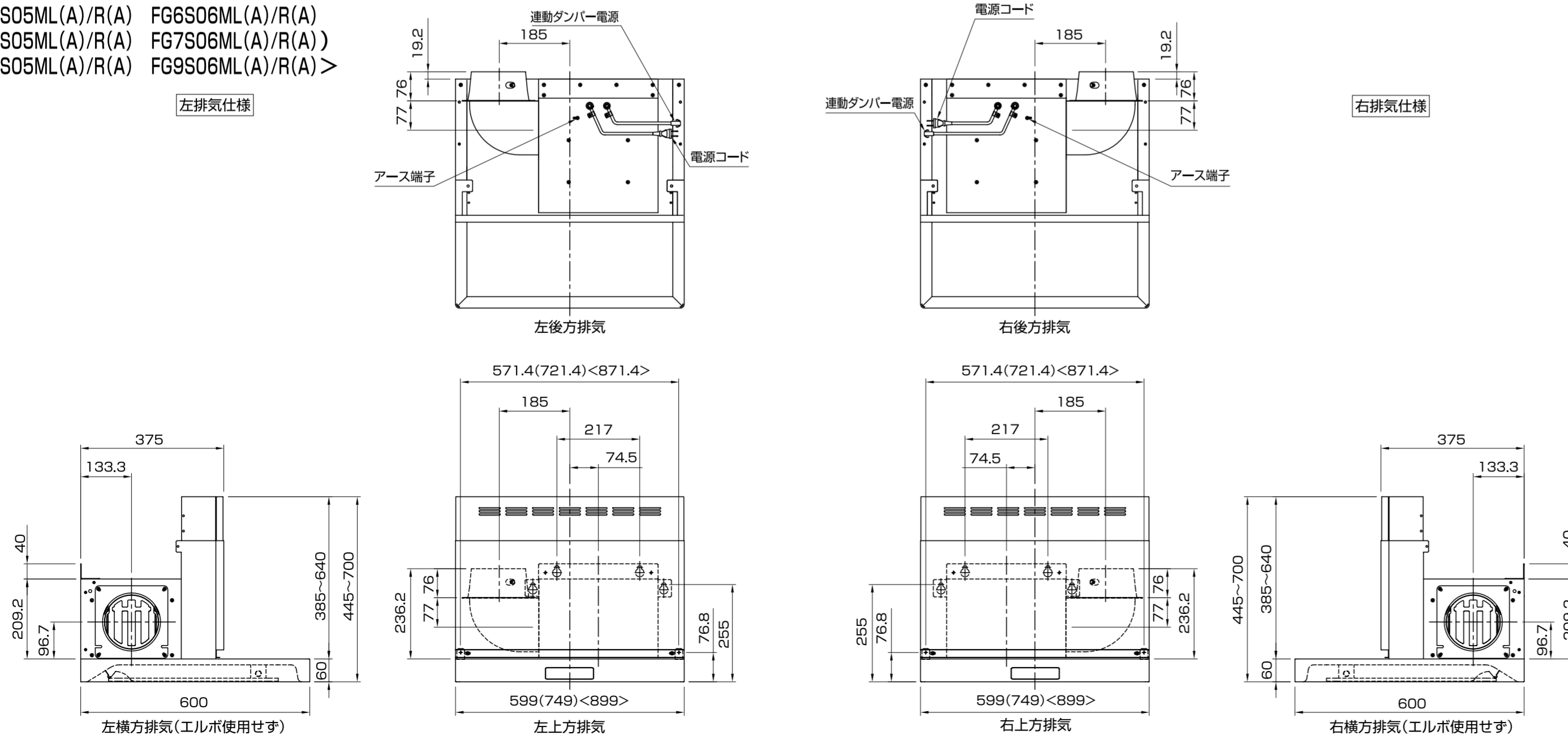
■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(図記号例)

| | |
|--|------------------|
| | 実行しなければならない内容です。 |
| | してはならない内容です。 |

ケG88

外形寸法図

FG6S05ML(A)/R(A) FG6S06ML(A)/R(A)
 (FG7S05ML(A)/R(A) FG7S06ML(A)/R(A))
 <FG9S05ML(A)/R(A) FG9S06ML(A)/R(A)>



警告

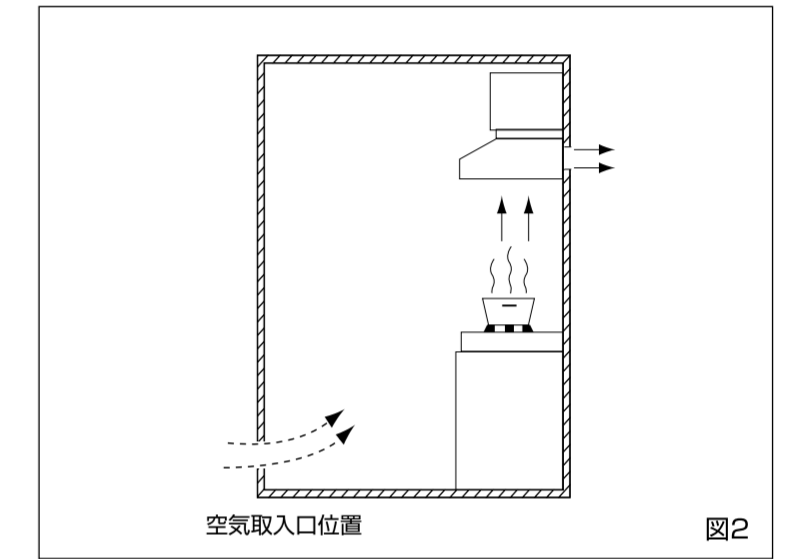
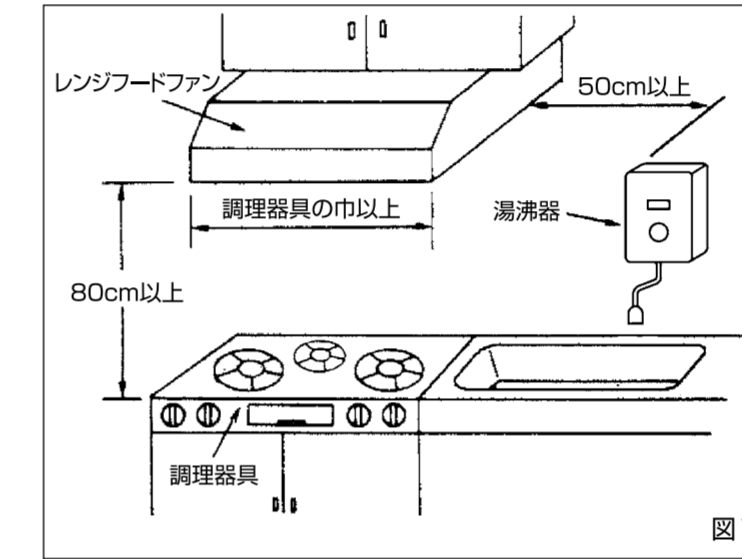
| | |
|--|--|
| 改造・分解はしない ●設置で必要なところ以外は絶対に改造・分解は行わないでください。 火災・感電・けがの原因になります。 | 水をかけたりしない ●モーターやスイッチなどの電気部品に水をかけないでください。 ショートや感電のおそれがあります。 |
| 電源プラグのお手入れを ●電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は拭いてください。 火災の原因になります。 | 壁貫通工事は注意 ●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または、金属板張りの木造の建造物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように取り付けてください。 漏電した場合、発火することがあります。 |

注意

| | |
|---|--|
| ファンや部品の取り付けは確実に ●ファンや整流板、部品の取り付けは確実に行ってください。 落下によりけがをする原因になります。 | 電源プラグを持って抜く ●電源プラグを抜くときには、必ず電源プラグを持って引き抜いてください。 感電やショートして発火することがあります。 |
| 強度のある所に取付ける ●本体の取り付け工事は十分強度のあるところを選んで確実に行ってください。 落下によりけがをするおそれがあります。 | AC100V以外禁止 ●AC100V以外では使用しないでください。 火災・漏電・機器が故障する原因となります。 |

取付前の注意事項

- 部屋全体の換気には他の換気扇(ダクト用換気扇、または一般用換気扇)を併用してください。(レンジフードファンは局所換気専用です。)
- 取付工事の際は手袋、軍手などを使用してください。
- 取付高さは調理器具上面より標準80cm以上です。(但し、消防法により規制される場合がありますので注意してください。)
製品は調理器具の真上に取り付け、取付高さは80cm以上の高さに取り付けますが、あまり高すぎると排気効果が低下します。(図1)
- ガス開放式湯沸器の上部は高温になるので、開放式湯沸器の真上には取り付けしないでください。
- ダクト排気するときはダクト抵抗の確認が必要です。
- 空気の取入口を設けてください。
密閉された部屋で使用の場合は、空気取入口を設けます。空気取入口の位置はレンジフードファンと反対側に設け、大きさは排気口の大きさ(□156mm)以上にしてください。(図2)
- レンジフードファン本体と排気ダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆ってください。(詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください。)
- 下地の確認をしてください。
① 木質壁の場合
●板厚が20mm以上の場合は直接壁に取り付けてください。
●板厚が20mm未満の場合は壁に補強板を埋め込む等の補強を施し、レンジフードファンを取り付けてください。
② コンクリート、タイル壁の場合
●あらかじめ補強板が壁に埋め込まれているか確認し、埋め込まれていない場合は、カールプラグ等を使用し固定してください。
(本体の取付用木ネジは50mmのものが同梱されており、取付用木ネジが確実に届いているかを確認してください。下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボードの厚さを確認し取付用木ネジが確実に木部に届くことを確認してください。)
●製品重量は18~23kgです。
③ AC100Vコンセントの設置がない場合は、100Vコンセントを設置してください。
- 電源コードは傷付けないよう配線してください。



付属品とその使用場所

| | |
|---|---|
| ① ネジセット 座金付き丸木ネジ(4本) 本体取付用 タップタイトネジ(8本) 排気口具取付用 | ⑤ スライド前幕板組(1ヶ) 引っ掛け金具(左右各1ヶ) 塞ぎ板上(左右各1ヶ) 塞ぎ板下(左右各1ヶ) 丸木ねじ 3.8×13(6本) タップタイトねじ M4×10(8本) 塞ぎ板上、下固定用 前幕板、塞ぎ板下取付用 ウレタン(1本) 塞ぎ板上(左右)用 |
| ② 排気口具(1ヶ) | |
| ③ エルボ(1ヶ) | |
| ④ 整流板(1ヶ) | |

取付方法

1 取付位置を決めてください。

調理器具の真上80cm以上の所に取り付けてください。(図3)

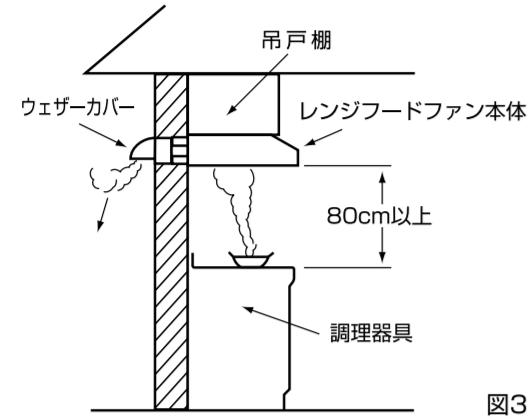
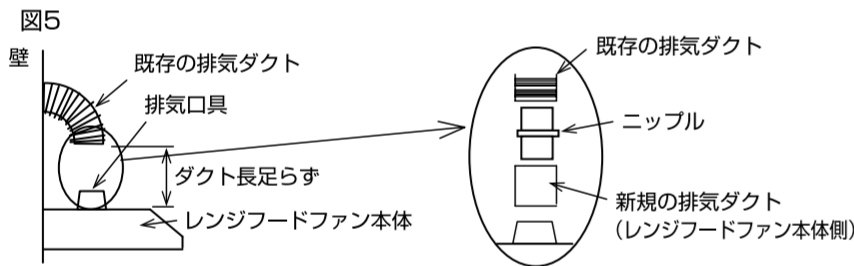
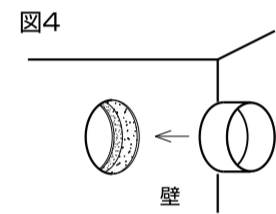


図3

2 壁への穴あけ及びダクト工事をしてください。

①取付位置及び排気口位置を決め、壁にφ160程度の穴をあけてφ150パイプ(鋼板管)を埋め込みパイプ周囲をモルタル等で仕上げてください。(図4)

※既存の排気ダクトを使用する場合
既存の排気ダクトをそのまま使用し、排気口具に接続してください。
また、既存の排気ダクト長さが足りない場合は、ニップル(別売部品)を使用し延長してください。(図5)



3 取付前の準備をする。

※製品取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること。けがのおそれがあります。

①付属品に不足がないか確認してください。

②本体の養生シート、固定テープをはがしてください。

③壁が、レンジフードファンの取り付け可能な強度を十分に有しているか確認してください。
また、仮止め穴位置および製品固定位置が補強の上にあることを確認し、ネジ固定位置の強度も確認してください。
(「取り付け前の注意事項」 - (8) 参照)

※横幕板(別売部品)を取り付ける場合は、別売部品に同梱の取付説明書をご確認の上準備をしてください。

4 排気口具を取り付ける。

4-1 上排気の場合 ※図は右排気仕様です。(左排気仕様は左右対称となります)

①エルボと排気口具を付属のタップタイトネジ(M4×10)(4本)で固定してください。
排気口具のシャッター羽の開く方向は排気方向に応じて取り付けてください。(図7)

②エルボを排気方向に合わせて付属のタップタイトネジ(M4×10)(4本)で固定してください。

※排気方向によって固定する穴位置が異なりますので注意してください。

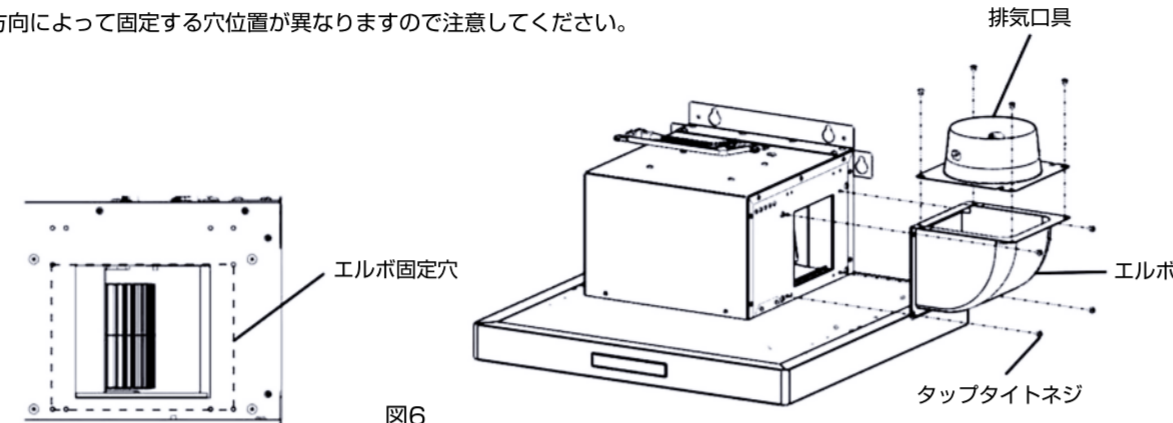


図6

※上排気で、排気口具にダクトを接続する場合、シャッターの開く向きに注意して排気口具を取り付けてください。
(図7)
(×の向きでは排気抵抗が大きくなります。)

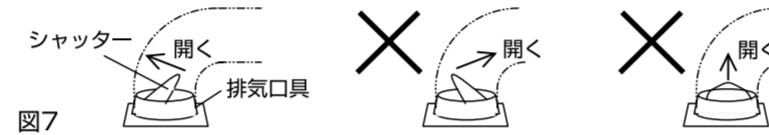


図7

4-2 後排気の場合 ※図は右排気仕様です。(左排気仕様は左右対称となります)

①エルボと排気口具を付属のタップタイトネジ(M4×10)(4本)で固定してください。
この場合、排気口具のシャッター羽の開く側を下にして取付けてください。

②エルボを排気方向に合わせて付属のタップタイトネジ(M4×10)(4本)で固定してください。

※排気方向によって固定する穴位置が異なりますので注意してください。

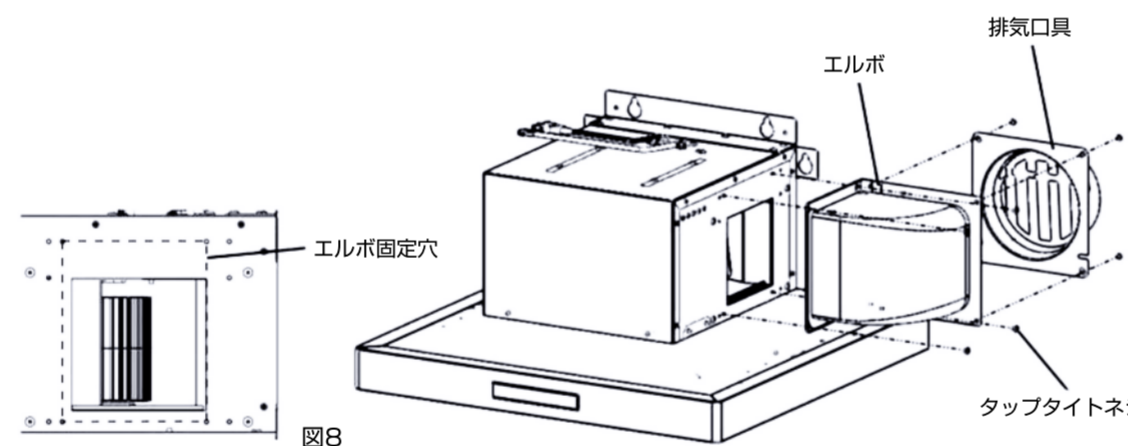


図8

5 本体を取り付ける。

①本体の下面位置を決めて、外形寸法図の仮止め穴位置を確認してください。
その位置の壁に付属の座金付き丸木ネジ(2本)の頭を5mm程度浮かせてネジ込んでください。(図10、11)

※仮止め穴位置は右排気/左排気で異なります。外形寸法図を確認してください。
仮止め穴はAまたはBを使用してください。引っ掛け金具が干渉する場合は、金具を取り外し仮止め穴Aを使用してください。

※仮止め寸法
仮止め穴Aを使用する場合: 図10参照
仮止め穴Bを使用する場合: 図11参照

②仮止め穴位置のネジに本体の仮止め穴を引っ掛けてネジを増し締めしてください。

③両脇の製品固定穴に座金付き丸木ネジ(2本)をネジ込み本体を固定してください。

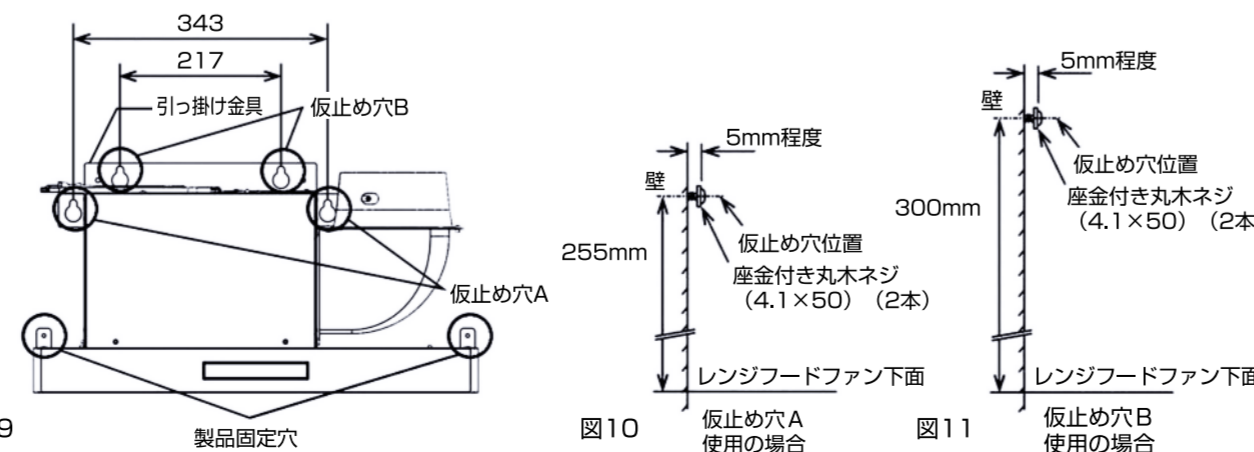


図9

図10

図11

6 排気ダクトを取り付ける。

①排気ダクトを排気口具に差し込んで、アルミテープ等で接続部を隙間なくテーピングしてください。
(排気が漏れないようにしっかりと固定してください。)

②既存の排気ダクト長が足りずにニップル・銅板管等で延長した場合もそれぞれの接続部を、アルミテープで隙間なくテーピングしてください。

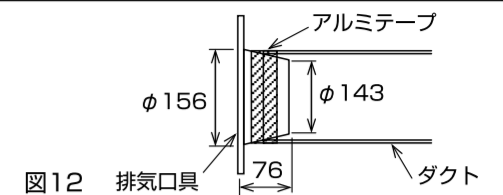


図12

7 仕上げと配線

電気配線工事は「電気設備技術基準」「内線規定」に従い、有資格者による工事をおこなってください。

①整流板のフックを本体ヒンジに引っ掛けて手前側を持ち上げストッパーに固定してください。

※本レンジフードファンは安全の為、整流板を確実に取り付けしていないと運転できません。

②アース線を接続してください。(必ずD種接地工事をおこなう)
アースは他の機器と併用しないでください。

③運動ダンパー電源について(運動させる場合のみ)
下記の仕様を満足する場合、レンジフードの運転と連動させてダンパー等の開閉をおこなうことが可能です。運動ダンパーは現地手配となります。

ダンパー等の仕様 ・ AC100Vの入力で動作し、起動時の電流が1A以下
・ 2芯の出力線が接続可能なもの

※運動ダンパーの取付・設置は運動ダンパーに付属の工事説明書に従い、確実にこなしてください。

④電源プラグをコンセントに差し込んでください。

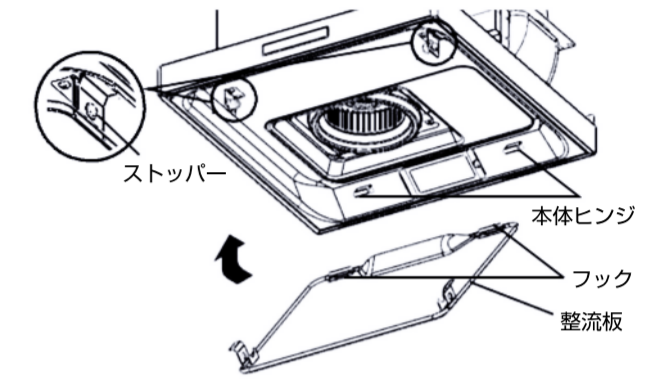


図13

8 前幕板(付属品)を取り付ける。

※横幕板(別売部品)を併用する場合は、別売部品に同梱の取付説明書に従って取り付けしてください。

①スライド前幕板裏面のねじ(M4×10)2本を取り外しスライド前幕板をスライドさせます。(図14)

②スライド前幕板の高さ(H)を図15を参考にフード上面から天井までの高さ(A)から3mm引いた高さにしてください。

③取付けねじ(M4×10)各2本でスライド前幕板裏面に引っ掛け金具を取り付けてください。(図14)

④上下を組み合わせた状態で塞ぎ板下(左右)の前面を壁面から355mmの位置で下側を取付けねじ(M4×10)各1本で本体に固定します。(図16-1)

⑤塞ぎ板下(左右)の側面を丸木ねじ(3.8×13)各1本でキャビネットまたは壁面に固定します。(図16-2)

※左右を間違えないようご注意ください。

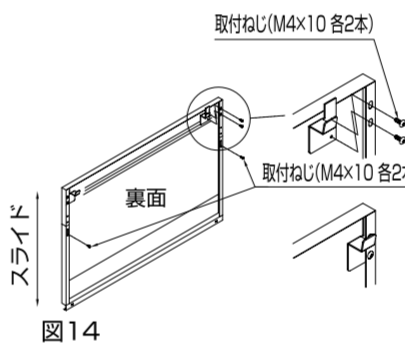


図14

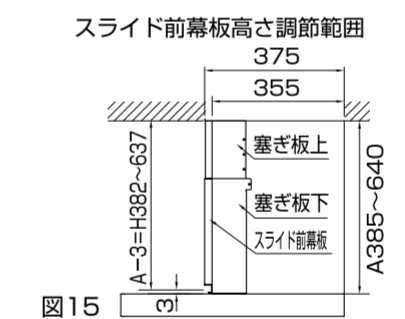


図15

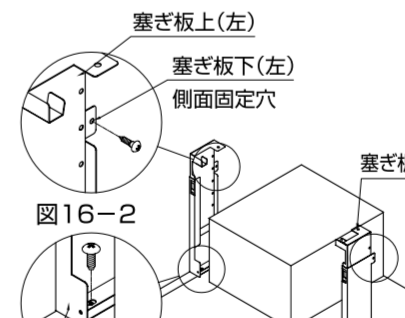


図16-1

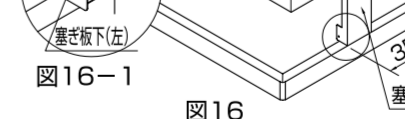


図16-2

⑥塞ぎ板上(左右)を天井に合う位置に調整してキャビネットまたは壁面に天井に丸木ねじ(3.8×13)各2本で固定します。(図17)

※天井に固定できない場合(各市町村の条例等により)はA穴(一番上の穴)でキャビネットまたは壁面に固定してください。また、下側の固定は天井から一番近い位置で固定可能な穴をご使用ください。

⑦スライド前幕板との隙間を塞ぐ為に塞ぎ板上(左右)にウレタンを必要な長さにカットして貼り付けてください。(図18)

⑧図19のように塞ぎ板上(左右)のツメのところへスライド前幕板に取り付けた引っ掛け金具(左右)のツメを差込み、スライド前幕板下部2箇所を取付けねじ(M4×10)2本で塞ぎ板下に固定します。(図19)

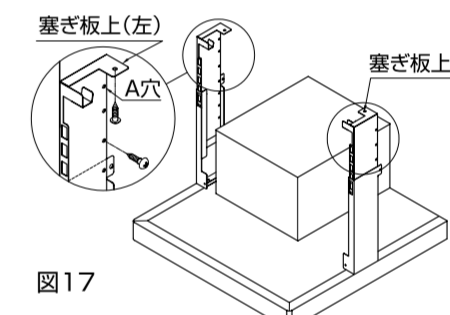


図17

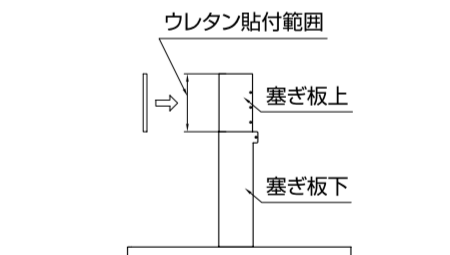


図18

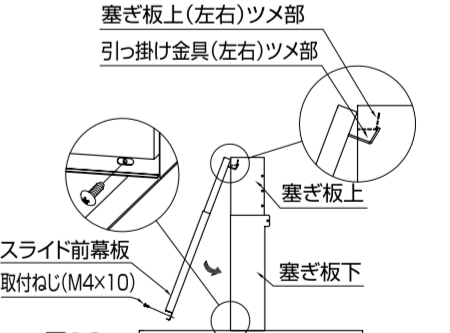


図19

9 試運転

①赤外線受信部の保護フィルムをはがしてください。(FG6S06ML/R、FG7S06ML/R、FG9S06ML/Rのみ)

②試運転を行い、下記についてご確認ください。

- 各風量の運転時にそれぞれ排気が行われていること。
- 整流板が開いた状態で「運転スイッチ」を押して動作しないことを確認してください。
- 照明が点灯すること。

4. 整流板を確実に取り付け、「運転スイッチ」を押して動作することを確認してください。

5. 異常な振動、騒音がないこと。

試運転完了後、保証書に必要事項を記入のうえ、「取扱説明書」をお客様へ渡していただき、保管をお願いしてください。